

カトリック 大名町教会ニュース

DAIMYOMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER

〔ミサ時間〕主日ミサ:(土)19時／(日)7時・9時30分／英語ミサ(日)16時

〔ホームページ〕<http://church.jp/catholic-daimyoumachi/>

〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7 〔巡〕能古島カトリック教会 ミサ(土)18時

Tel:092-741-3687 Fax:741-5107

〒819-0012 西区能古弁当 1621-12

発行責任者:杉原寛信神父

8

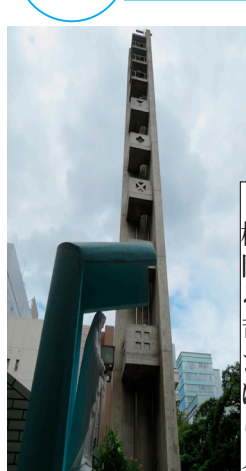
福岡教区年間テーマ：信じる喜びから 伝える喜びへ

大名町教会年間テーマ：全ての人に対してキリストの光でありなさい！

Be the light of Christ to everyone.

祝

ペトロ船津亮太助祭の司祭叙階式が7月23日(木)、久留米教会で行われました。



叙階の儀に入る前の訓話で、アベイヤ司教様は「皆が心をつにして、わたしたちの福岡教区が、司祭、修道者の召し出しに恵まれることを祈りましょう。現代社会において、司祭、修道者の生き方には大きな意味があります。美しい人生の道です。ここに、あるいはYouTubeを通して参加している若者に心からこれを言いたいです。司祭の道は、美しい人生の道です。」と力強く語った。



勉強会

船津 亮太 神父
毎週木曜日
休講中
再開は未定です。

・主日のミサは、毎週土曜日の19時、日曜日の午前に3回行われています。毎週の「お知らせ」をよくご覧になってください。

◇キリスト教講座Ⅱ期 休講中。

- ・金曜コース：休講しています。
- ・水曜コース：休講します。

*キリストの光に気づくために！
*どなたでも参加できます。

ゆるしの秘蹟：希望者は、個別に司祭に依頼してください。

「なぜ怖がるのか。
まだ信じないのか」

教皇フランシスコの『パンデミック後の選択』が日本語に翻訳され、カトリック中央協議会から出版された。コロナウィルスという嵐に弄ばれ、日常という舟が沈んでしまうのでは、との恐怖に慄く私たち。だからこそ、冷静に聴いて考え、取らなければならぬ行動がある。Vol.19とは？

「主よ、今宵、あなたのことばはわたしたちの胸を打ちます。わたしたちがわたしたちの者への警鐘です。あなたがわたしたちをこの世界の中で、わたしたちはすさまじい速さで突き進み、自分たちは力がある何でもできると思い込んでいました。貪欲に利益を求め、さまざまに忙殺され、急ぎ立てられ混乱していました。あなたの呼び声を聞いても立ち止まらなかったでした。戦争や地球規模の不正義を前にしても目を覚まさず、きました。貧しい人の叫び声にも、無残に傷つけられた地球の声にも耳を傾けてきませんでした。病んだ世界の中で、自分たちはいつだってまともだと考え、無関心でい続けてきました。荒波にもまれる今、わたしたちはあなたに切に願います。『主よ、目を覚ましてください』。」

カトリック大名町教会

主任司祭 杉原 寛信

コロナ禍

いつまで？ 金曜日の14時の鐘！
感染症の終息を祈り、医療者などへ感謝！

6月7日(三位一体)に、100日ぶりの主日のミサが始まりました。でも、まだまだ油断できない状況は続いています。

ソーシャルディスタンス(距離をとって)、座るのも、立つのも、ご挨拶も。でも笑顔で目線をしっかりと合わせるならば、心の距離は離れません。



間隔を取って座りましょう。マスクをしましょう。ご聖体拝領も距離をとって並びます。

コロナ感染症による緊急事態宣言や自粛などにより、3月20日に予定されていたパトリック船津亮太助祭の「司祭叙階式」が、7月23日に行われることになりました。船津助祭の出身の久留米教会で行われることになりましたが、この



時期です、参加者に制限がありました。私たちは皆でお祈りで参加しました。うれしい司祭叙階式でした。神に感謝！



◆脳梗塞で入院していた高齢のAさん。お見舞い制限で家族もAさんも寂しく思っていました。ところが、東京で働いている息子さんの会社が、ホームワーク(自宅でお仕事)での仕事になり、福岡でも仕事ができること、福岡さんも退院し在宅療養にできると喜んでいたが、家族で介護ができた。

ご聖体拝領も、ちょっと距離をとってしっかりと腕を伸ばしていただくようにいたしましょう。



司式者もソーシャルディスタンスで。



熱はありませんか？

大名町教会7月の現勢

【転入】 (教会から)

・ジエンマ 赤司 博子 (鳥栖教会)

・ローザ ミスチカ 前原 礼子 (大牟田教会)

・マリア 藤 にれこ/マリア (糸島教会)

【転出】 お元気で (教会へ)

・ペトロ 目良 勉/カタリナ 杏寿/パウロ 龍進 (古賀教会)

・モニカ 三戸 弘子/カタリナ 尚子 (高宮教会)

・クロチルティアス 岡田 伸子 (東京教区上野教会)

・F・ザビエル 堤田 大樹 (老司教会)

【洗礼】

7月10日

・マテオ 岡本 嘉典

7月14日

・アグネス 内野花笑 (内野了一 美里さんのお子様)

【帰天】

・7月13日 マテオ 岡本 喜典

・7月20日 ペトロ 徳重 欽士

ペトロ 船津亮太神父様の 司祭叙階式に参列して

7月23日(木)、久留米カトリック教会で行われた、ペトロ船津亮太神父様の叙階式に地区の青年として参加させていただきまし

た。残念ながら今回の叙階式は、新型コロナウイルスの影響もありカテドラルではなく、新司祭出身の久留米教会で行われました。いつものように大勢の方々と目に見えての喜びを分かち合うことはできませんでした。

しかし、Youtubeでの配信をたくさんの方がご覧になったことや、船津神父様の出身教会で行われたことで、より信仰の絆を感じられる暖かな叙階式となりました。

その中で、現地の空気に触れ、私の心に残ったことを分かち合いたいと思います。

アベイヤ司教様は、訓話の中で「司祭の生き方は美しい人生の道」、また、その日読まれた福音を通して神様が船津神父様を選ばれ、「いいところ」へ導いてくださったことをお話しされました。私は、神様が選んでくださった居場所を見つけ、これから歩んで行かれる船津神父様がとても幸せそうに見え、うらやましいと思いました。そして、そんな船津神父様が、私たちの信仰を支えてくださるこ

とに希望と喜びを感じています。

船津神父様のこれから歩む道が司祭叙階記念カードにあった「私の愛に留まりなさい」そのお言葉通りとなりますように。

船津亮太神父様、本当におめでとうございます！

青年会 ミカエラ 荒牧結花

ミサ奉仕のよろこびと

2月の「灰の水曜日」以降、公開ミサ中止という誰もが初めての経験をする事になり、これからどうなるのだろうか？と不安に感じていた中、様々な教会でミサがネット中継され各教会、試行錯誤しながらの中継で大変なご苦労があったであろうと感謝しながらオンラインミサに与っていたある日、大名町教会でも公開ミサ再開のお知らせが届きました。

コロナ感染終結には程遠い中でのお知らせに嬉しさよりも戸惑いの方が大きかったと思いました。

典礼部が、集まって打ち合わせすることが出来ないままミサ再開になり、不手際も多かった中、突然の先唱、オルガン奏者、朗読を頼まれた方が、快く引き受けてくださったことに心から感謝の気持ちでいっぱいです。

ごミサも週を重ねるごとに若い方の協力者が増えてきて、信徒の一人ひとりがごミサに与れる喜びを奉仕という形で協力してくれて、いることに大きな喜びを感じるこ

とが出来ました。

これはミサ再開と共に大名町小教区に来てくださった船津新司祭、西田助祭の誠実で懸命な働きが皆の心を動かしたのだと思います。

あるミサ後に、青年の方数人がミサ奉仕について積極的に協力を申し出てくれ、まさに「聖霊が働いている！」と瞬間的に感じる事が出来ました。

困難の時にこそ神様が共にいてくださり、聖霊を送り、働いてくださることを改めて感じさせて頂くことが出来ました。これから典礼部一丸となって同じ方向を向いて共同体としての「共に捧げるミサ」を目指し、縁の下の力持ちはパワーを増していけるように皆で力を合わせていきたいと思いま

典礼部 マリア 大石 和枝

つぶ やき 会長の

♪ごらんよそらの鳥、野の白百合を、蒔きもせず、安らかに生きる♪

邪心と無心

日本26聖人、殉教者の歩んだ道、京都から長崎までの『長崎の道』をただ一人歩いた。今年の目標、漢字一字、

「歩く」完歩した。『願いなさい』人生65年を迎え、区切りに、特別な時をいただき、神様からいただいたこの命を振り返りたく、明日

への道を主とともに歩む学び、本物の歩みを知りたくて殉教者たちの喜びの長崎への道を歩むことができませんようにとマリア様に取次ぎを祈った。巡礼マップを頼りに京街道、西国街道、山陽道、唐津街道、長崎街道、時津街道を歩き西坂の丘に辿り着いたのは7月29日、13時30分でした。豪雨のため一時自宅に帰るも、延べ29日間の歩みでした。すべての道は、支えてくれる杖(イエス様)とロザリオの祈り(マリア様)そして背負うリュックの重み(己の罪、十字架)を感じながら、ただひたすら、64歳で殉教した岡山の聖人、デイエゴ喜斎を中心道歩きながら、創造主が創られたこの地球の美しさ、すべてのいのちへの慈しみをこの目で見ながら主をたたえる聖歌を大声で歌いました。反面、人間の大地への傲慢、強欲、無関心、山中に海に散乱するごみの山、怒りと涙でした。岩国で山頭火に出会いました。『山あれば山を観る、雨の日は雨を聴く、春夏秋冬、あしたもよろし、ゆふべもよろし。』巡礼の歩みのテーマの一つ、『見なさい』『聞きなさい』と主の呼ぶ声が聞こえてくるのでした。主にゆだねた巡礼、すべてに感謝。神に感謝。

大名町教会信徒会会長

F・ザベリオ 濱崎公夫

宣教司牧評議会

◆検討事項

- (1) 宣教司牧評議会の元に置く部会について
- ・宣教司牧評議会の元に置く部会として、財務部、典礼部、総務部、営繕部、施設管理部、広報部、宣教部、美化部を承認した。
- (2) 宣教司牧評議会の元に置く専門委員会について
- ・必要に応じてこの専門委員会を設置することを承認した。
- (3) 宣教司牧評議会の活動構成グループについて
- ・教会学校、青年会、ヨゼフ会、小さき花の会、ふれあいの集い、女性の会、英語ミサグループ。
- (4) 宣教司牧評議会の運営方法について
- ・第2週の日曜日に宣教司牧評議会を開催する。準備会は、前週の水曜日に行う。
- ・準備会の出席者は、司祭、信徒会長、副会長、財務担当者、司会者及び議題提出者とする。
- (5) 新型コロナウイルス感染予防と教会活動の再開について
- 【主日のミサについて】
- ・3密対策を徹底し、継続する。
- 【教会活動の再開について】
- ・教区の方針を確認し、今後の対応について主任司祭の指示を仰ぐ。
- (6) 2020年7月九州豪雨への対策について
- ・募金活動を行う。
- (7) その他

◎長寿の祝福式について

・今年は、新型コロナウイルス感染の心配があるため、特別な祝福式は行わない。

・意向ミサを捧げることを、案内ハガキでお知らせする。

◎聖母の被昇天のミサについて

・聖母の被昇天のミサについては、新型コロナウイルスの状況を鑑み、ミサを2回（9時と10時半）行う。10時半のミサは、アベイヤ司教司式で行われる予定。

2020年度『宣教司牧評議会』

委員長紹介

▽委員長…杉原寛信主任司祭

▽副委員長…船津亮太協働司祭

▽信徒会

▽副会長…久志昇 里村泉

▽財務部…岩村清貴 緒方みゆき

▽典礼部…大石和枝

▽総務部…

行事…里村泉 竹原実

防災…杉山輝文 増山力

櫻木裕

▽営繕部…施設管理部…豊嶋司 増山力

▽広報部…濱崎敦郎

▽宣教部…目良豊

▽美化部…森川幸夫

▽教会学校…久志昇

▽青年会…林田明日香

▽小さき花の会…大石和枝

▽ふれあいの集い…原山映子

▽女性の会…若狭千賀子

▽英語ミサグループ…アンナ・ルー

教区からのお知らせ

1. 新型コロナウイルスの中で

公開ミサを続けるにあたって

① 3密（密閉、密集、密接）を避ける。

② 侍者がいる場合は、同じように3密を避けることを徹底。

③ アルコール消毒、マスク着用。

④ 聖堂の十分な換気。

⑤ 洗礼盤、聖水盤に聖水を入れ

ない。

⑥ ミサ中に聖歌を歌わない。

⑦ 奉納の行列をしない。

⑧ 「司祭用」のホスチアはパテナ

におき、「信者用」のホスチア

はピクシスに入れる。

⑨ 司式者の飛沫が飛ばないように、ピクシスに蓋やパラをかぶせる。

⑩ 聖体授与の前に、司祭も聖体

奉仕者も、手をアルコール消毒

し、信者は聖体を手でいただく。

⑪ 茶話会やミサ後の飲食を行わ

ない。

⑫ 各ミサの参加者名簿を作成す

る（名簿は氏名、連絡先が分か

ればよい）。クラスタが起こつ

た場合に連絡が取れるため。

2. ミサの参加者については、各

小教区の状況に合わせて工夫し

てください。

① 参加者が多い場合は、ミサの

数を増やして、地域を決めて参

加する。

② それができない場合は、二つ

の日曜日ごとに地域を決めて、

ミサに交代で参加する。

③ 地区内で協力して困っている

小教区を助ける。また、必要で

あれば教区本部事務局に連絡

して、事務局の方で助ける方法

を考える。

④ いずれにしても、3密が避け

られるよう万全の対応をしてく

ださい。

3. 他の教会活動については、各

小教区の状況に合わせて決めて

いただければ結構ですが、感染

予防に十分気を付けてくださる

ようにお願いいたします。体調

不良の場合は、無理をせずに、

ミサの参加への自粛をお願いし

ます。

・従来、体調不良の場合は主日の

ミサに与る義務は免除されてい

ます。また、ミサを司式する

司祭は、熱があったり、咳が出

たりするなど体調がすぐれない

場合は、ミサを司式しないよう

にしてください。そのような場

合は、信者には主日のミサに与

る義務はありません。

・新型コロナウイルス感染で苦し

む患者の方々、治療や介護にあ

たる医療関係者、困難な状況に

置かれているの方々、信者の世話

にあたる教会関係者、そして亡

くなられた方々のために祈り、

また、この災禍が一日も早く収

束するよう祈りましょう。

皆さんの上に神様の豊かな祝福

を祈ります。

福岡教区

ヨゼフ・アベイヤ 司教